

浸透マス設置のお願い

(戸 建 住 宅 へ の 浸 透 マ ス 設 置 基 準)

狭山市は、雨水の流出抑制に取り組んでおり、開発事業、戸建住宅、共に敷地内処理を原則としてお願いしています。これは、雨水を地下に浸透させたり、一時的に貯めることで河川へ流れ込む量を抑え、流出抑制を行うことで流域の治水対策を推進するものです。

また、屋根に降った雨水を浸透マスや浸透トレンチによって地下に戻すことは、土に潤いを与え※ヒートアイランド現象の緩和や地下水湧き水の保全・復活など『良好な水環境の回復』にもつながります。

『潤いある街づくり』に是非ご協力ください。

※ヒートアイランド現象

近年、都市部で問題視される現象の1つで、都市部の気温がその周辺に比べて異常な高温を示す現象である。



道路維持課

施設規模の求め方（例）

- 1 屋根面積を求める。(注1)

$$A = 10\text{m} \times 2.5\text{m} \times 1 / 2 = 12.5\text{m}^2$$

$$A = 12.5\text{m}^2$$

- 2 屋根面積に対する比浸透量(kf)を計算する。

$$kf = 5.138\text{m}^2$$

$$kf = A \times 0.411 \quad 12.5 \times 0.411 = 5.138$$

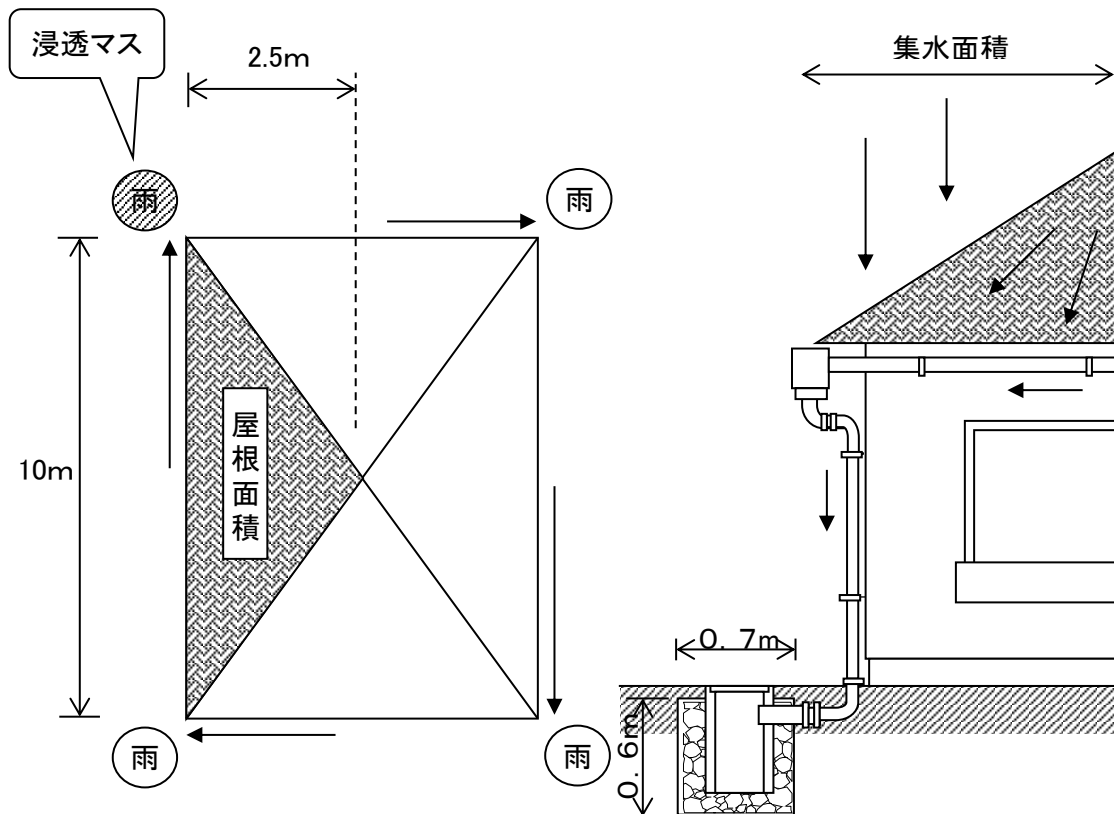
- 3 表より比浸透量(kf)を満足するものを選ぶ。

$$5.138 < 5.23$$

ゆえに 0.6(H) × 0.7(D) の形状の浸透マスを選択。

$$\text{施設設置個数 } A : 12.5\text{m}^2 \times 0.079 = 0.9875 \quad 0.9875 < 1 \dots \text{浸透マス1基}$$

(注1) 屋根面積はすべて水平に投影した面積とする。



浸透マス設置個数の目安(屋根水を集めて処理)

設計水頭(H:m)	施設直径(D:m)	比浸透量 k f	施設設置個数 A:屋根面積(m ²)
0.60	0.7	5.23	0.079 × A < 1
	0.8	5.86	0.070 × A < 1
	0.9	6.50	0.063 × A < 1
	1.0	7.14	0.058 × A < 1
0.70	0.7	5.92	0.070 × A < 1
	0.8	6.62	0.062 × A < 1
	0.9	7.33	0.056 × A < 1
	1.0	8.03	0.051 × A < 1
0.80	0.7	6.64	0.062 × A < 1
	0.8	7.41	0.056 × A < 1
	0.9	8.18	0.050 × A < 1
	1.0	8.95	0.046 × A < 1
0.90	0.7	7.38	0.056 × A < 1
	0.8	8.22	0.050 × A < 1
	0.9	9.06	0.045 × A < 1
	1.0	9.90	0.042 × A < 1
1.00	0.7	8.15	0.050 × A < 1
	0.8	9.06	0.045 × A < 1
	0.9	9.97	0.041 × A < 1
	1.0	10.88	0.038 × A < 1
1.20	0.7	9.76	0.042 × A < 1
	0.8	10.82	0.038 × A < 1
	0.9	11.87	0.035 × A < 1
	1.0	12.92	0.032 × A < 1

降雨強度を30mm/hrとした場合です。

